

【参考】次世代RIMSにおけるデータベースの統合化

平成29年9月27日
東日本高速道路(株)
定例記者会見 資料1-3

【現在のRIMS】



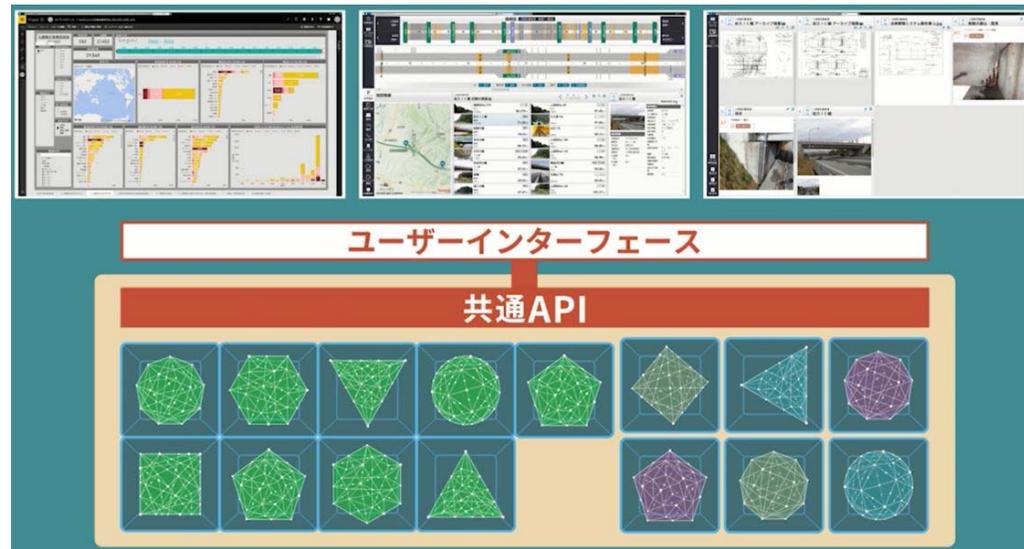
○現在のRIMSは、15の個別のデータベース(DB)からなるDB群。

例：点検管理システム、凶面画像管理システム、橋梁マネジメントシステムなど



○担当者が、15の個別のDB群からそれぞれデータを取り出し、個人のパソコンで必要な情報を加工して資料化。様式も作成者により不統一。

【次世代RIMS】



○次世代RIMSは、15の個別DBのうち9つのDBを1つに統合。共通APIにより、それぞれのDB情報を一元的に処理。



○担当者は、分析に必要な様々なデータを一元的に入手可能。定型様式により、誰でも瞬時に必要な資料が出力可能。